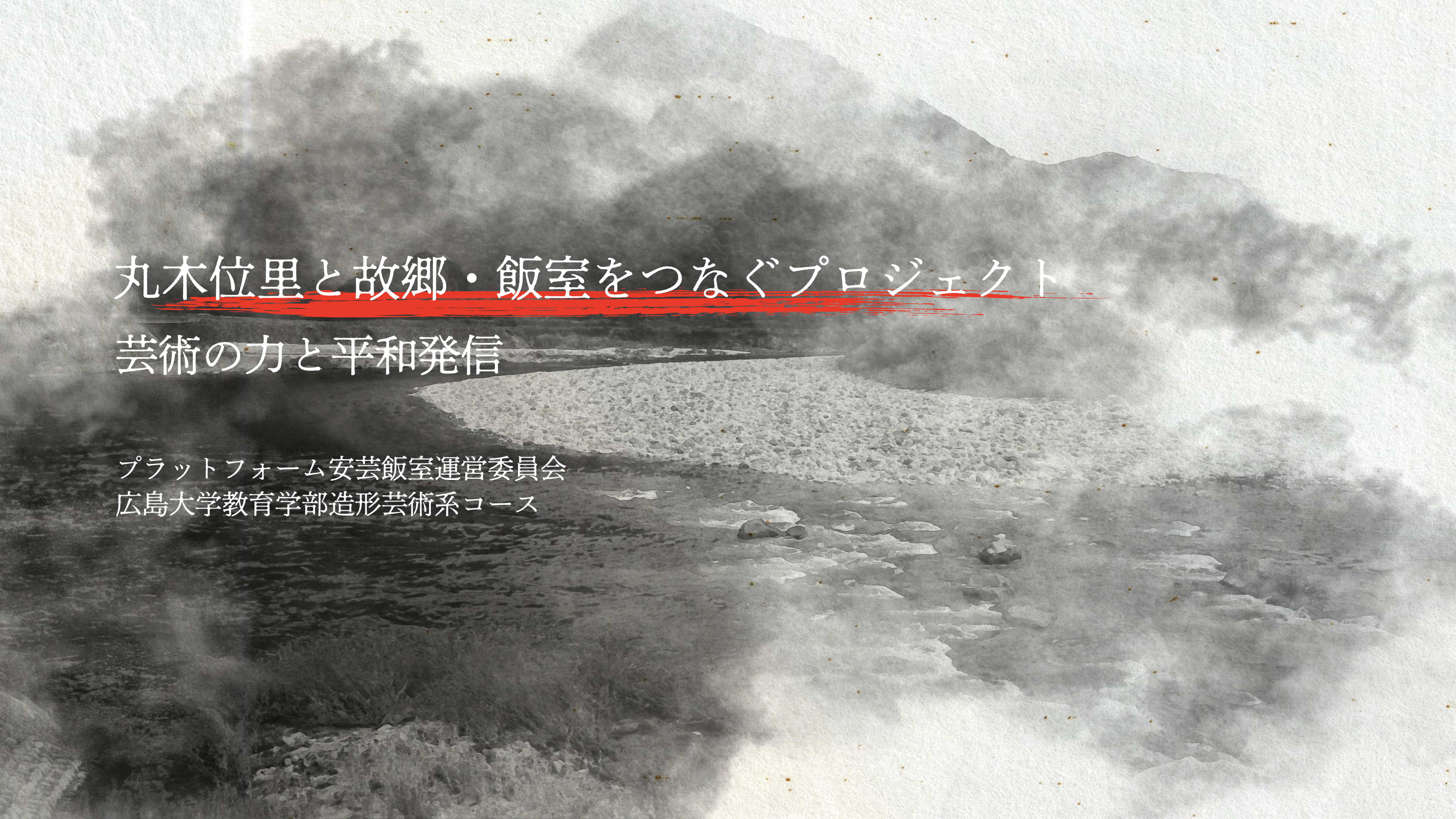




丸木位里と故郷・飯室をつなぐプロジェクト

芸術の力と平和発信

プラットフォーム安芸飯室運営委員会
広島大学教育学部造形芸術系コース

本プロジェクトの背景

丸木位里 飯室で生まれ、平和を訴えた画家

広島県安佐北区安佐町飯室出身の水墨画家。
妻・丸木俊と共に原爆被害の様子を描いた
《原爆の図》連作で広く知られる。

飯室地域の抱える問題

故郷の飯室には、彼の作品が多く残されているが、作品所有者や生前の丸木位里を知っている方の高齢化によって、認知率は低下。

→丸木位里の価値、出身地である飯室の価値の再認識を促す
飯室地域の活性化



連携している地域団体 プラットフォーム安芸飯室運営委員会

廃線となった旧可部線安芸飯室駅を改修
地域の住民の交流の場として活用
飯室地域の活性化を行う
2018年から5回 8月に原爆の図の複製画を展示

丸木位里の生誕地としての飯室を広く知ってもらおう。飯室の地から平和を訴える。

本プロジェクトの概要

活動内容

丸木位里の制作と平和活動

作品調査



▲安佐公民館での調査



▲飯室小学校での調査



▲清和中学校での調査



▲アートイベント



平和発信

地元の人々のみならず幅広い世代に広く情報発信を行うことで、その文化的価値を継承

本プロジェクトの概要

今年度の活動

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

アートイベント準備

● 8/6アートイベント(於:旧安芸飯室駅舎)

作品調査

トークイベント、パネル準備

● 11/20トークイベント、パネル展示
(於:安佐公民館)

小冊子準備

● 小冊子
完成
→配布

アートイベント

丸木位里の制作と平和活動

作品調査

ギャラリートーク

小冊子よりも詳しい情報を多くの方に

参加された方から

「小冊子を読むだけでは
わからない情報を
たくさん知れて満足した」

水墨画体験

丸木位里の表現を追体験

参加された方から

「楽しかった」
「作品の見方が変わった」

→描くことを通して丸木位里の作品の
価値を伝えることが出来たのでは



平和発信

語り合うワークショップ

新たな視点からの平和へアプローチ

地元中学校の美術の先生から

「ぜひうちの中学校でも部活
等で実施して欲しい」

→地元中学校等での
実施の展開の期待

学生の作品展示

学生らが平和について対話し作成



参加した学生の声

「気軽に芸術に触れる機会を提供できてよかった」

「若い世代に来てもらうためにはどうすればいいか」→来年度の課題も

トークイベント

専門家による講演会とパネル展示を企画

→パネル展示・プロジェクトに関する報告・学生によるポスターセッション・参加型ディスカッションに変更



▲学生によるポスターセッション



▲学生制作のパネル展示



▲参加型のディスカッション



▲プロジェクトに関する報告

延期となった専門家による講演会は2023年5月6日に安佐公民館で実施予定
同時に学生制作のパネル展示も行う(2023年5月6日から31日まで予定)

小冊子作成

昨年度は丸木位里や作品について多くの人に知ってもらうことを目的に作成。
今年度は丸木位里と彼と関係のある飯室出身の芸術家についてまとめ、作成した(A5版24頁)。



イラストや画像を多く使用。漢字にもルビを振り、
若い世代にも手に取りやすいものに

昨年度の活動

完成した小冊子を地域施設に配布した所、多くの情報が寄せられた。

今年度も小冊子は地元の安佐公民館や
小中学校(飯室小学校、清和中学校)等で配布
→今後活動の展開につながる情報が寄せられる効果が期待できる。



▲安佐公民館にて

課題

若い世代のアピール不足

トークイベント、アートイベントへの若い人や子供の参加率が低く感じた。
若い世代をターゲットとして、イベント内容を考える工夫を行う必要がある。

今後の展開

中学校での活動への展開

地元の清和中学校では、今回の調査対象である、佐々木邦彦の作品を多く展示しているため、生徒にとって飯室出身の画家の中でもより身近な存在なのではないか。

- 中学校に出向き、アートワークショップを行う
- 地元中学生と大学生と一緒に作品調査を行う

作品調査の継続

メディアで取り上げられたことや、小冊子の影響で、所蔵に関する情報が集まっている。
今後とも、作品調査を行っていきたい。

プロジェクトに参加して

活動を通して

丸木位里を始めとする飯室出身の画家たちについて詳しく知ることが出来た。
同時代に多くの画家が花開いた飯室の魅力に気がつけた。
学年を超えた活動を通して、学生間での交流が増えた。
飯室の魅力を、学生の専門性を生かして伝えることができた。

地域とのつながり

活動では、飯室地域に住む多くの方々にご協力いただいている。
こうしたつながりによって生まれた新たな出会いが、今後のプロジェクトの発展、ひいては飯室の持つ芸術文化の周知、文化的価値の継承に繋がるのではないか。



ご清聴ありがとうございました。